鎌倉の温古堂
創業一七〇周年
盆提灯・仏壇
仏具・香・香炉
御宮・神具
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

8月1日号
2018年(平成30年)
第473号
毎月1日発行
(一部税込108円)
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
© 発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉峰木
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

『材木座郷土誌』発刊

公会堂築100年記念事業 全戸配布

材木座公会堂が今年築100年を迎えるのを記念して材木座自治連合会(渡辺英昭会長)が『材木座郷土誌』を7月下旬、発行した。

老朽化した公会堂の「建て替えプロジェクト」が2015年11月に発足し、大規模改修を含む建て替えについての検討を進める中で、住民の理解と協力を得るためには、公会堂が建設された由来や地域の変遷を広く知ってもらい、住んでいることに誇りを持ってもらうことが大切であると考え、郷土誌の刊行に至った。

今回の郷土誌は、材木座の歴史を後世に伝えたいと、時の材木座地区連合会会長・蔵並豊年氏の発案で、2006年(平成18)から8年にわたり地元在住で鎌倉市立第一中学校長だった故小松原利一さんが同公会堂で行った講座内容をまとめた「材木座郷土誌第1集」(2010年発行)と補遺講座の第2集を1冊の本にまとめたもの。昨年6月、同自連・渡辺会長の呼びかけで7人の編集委員会を構成し、第1集から編集に携わっていた齋藤彰さんを編集長に作業を進めた。

本誌の元となった第1集・2集を手に編集委員会の渡辺さん(左)と齋藤さん

新刊の『材木座郷土誌』

原稿はなるべく元のものを活かし、材木座の歴史・自然・産業・社寺、生活・文化の5章に分類した。写真については鎌倉市中央図書館などの協力でより鮮明で新しいものに差し替え、航空写真も入れた。

日本最古の築港・和賀江島の由来、地形や災害、シラス漁や鱗供養、光明寺、五所神社などの社寺、別荘、材木座発祥の桜(桐ケ谷・普賢家)、行事や子どもの遊び、天王頃や小中学校校歌、地域振興に尽力した人々などが紹介されている。

戦前(昭和10年代)の材木座の街並み図や、1918年(大正7)に落成した公会堂が当時の町民の寄付金で建てられたことを証す墨書した表板の写真も載っている。

発行部数は3000部で、材木座自治連合会加盟の11自治会・2200世帯に配布される。市内の書店でも販売。1500円(税別)冬花社刊☎0467・23・9973

鎌倉 みほとけ紀行 (84)

題字は建長寺派管長 吉田 正道

文 永井宗直
写真 原田 寛

長谷寺・阿修羅身像

紫陽花も終わって混雑もひと息の鎌倉は輝く夏の海へと季節は展開します。三方が緑に囲まれ南に輝く海が開ける鎌倉は自然との調和がよく古来より人々が絶え間なく往来する都市であることが頷けます。

長谷観音は地名の由来にもなるもので、大和(やまと)(奈良)長谷寺とともに日本の観音信仰のメッカとなっている古刹です。寺伝によれば736年(天平8)の開創で、大和長谷寺の本尊と同じクスノキの霊木から十一面観音像は造立され、海を渡り相模国へ流着した霊験仏と伝えられています。

さて今回の「御仏(みほとけ)」はそんな霊験(れいげん)あらたかな長谷観音が三十三に身を変現して衆生済度する姿をあらわした「三十三応現身立像」です。観音経に説かれる功徳は、観音さまが三十三種に身を変えて衆生を救わんがために娑婆世界に来られた姿であります。その威容は実にバラエティー豊かですが、それもそうです。「人を見て法を説け」、と仏陀が説かれるように、衆生済度(しゅじょうさいど)(救う)するためには、いつの時代もそうですが、素直な人もいれば、一癖二癖ある人もいますので、観音さまは相手の身になっての姿をとっておられるのです。

その三十三現身のひとつ阿修羅身は人間が常に腹を立てている存在で、修羅場とよくいわれるように争いや戦(いくさ)の絶えない恐ろしい世界の鬼神であります。その容姿は三面六臂の険しい表情ではありますが、お顔は人々の危機や苦悩を救うべくうちづけられた慈悲の表情にも受けとめられます。

寄木造。玉眼。漆および彩色。像高94・5㎝〜108・6㎝。室町時代。拝観は観音ミュージアム(別途拝観料)。

鎌倉の年中行事 8月

▼鶴岡八幡宮のぼんぼり祭 6〜9日。6日15時、夏越祭。17時、俳句会。7日17時、立秋祭。9日10時、実朝祭。正午、短歌会。

▼黒地蔵縁日 10日0時〜正午、覚園寺。

▼四万六千日詣り10日 杉本寺、長谷寺、安養院。

▼閻魔縁日 16日山ノ内の円応寺。非公開。

▼鎖大師の施餓鬼法要 16日10〜16時本尊ご開帳。14時、法要。手広の青蓮寺。

▼鵠沼皇大神宮(烏森神社)例大祭 17日人形山車。

▼鎌倉宮例祭 19日16時、前夜祭。20日10時、例祭。21日10時、後鎮祭。

▼玉縄首塚慰霊祭 19日18時、提灯点灯。夕方、玉縄首塚で墓前法要。

▼片瀬諏訪神社例大祭 27日神輿や山車。

プロムナード

ロシアで開催されたワールドカップでは現地観戦をした日本人だけでなく外国人も一緒にゴミ拾いをする様子が伝えられました▼敗退した日本の試合直後のロッカールームにはゴミが一つも残されておらず、ロシア語で「ありがとう」というメモだけが残されていたことが大きな話題になりました▼現在、直径5㎜以下のプラスチックのゴミ「マイクロプラスチック」が問題となっているそうです▼企業ではペットボトルやストローを禁止にする動きもあるようです▼7月中旬、人生初の海水浴を楽しむ未就学児の娘と一緒に海に入っていると、ビニール袋などのゴミが足に絡みついてきました▼綺麗な地球を後世に伝え残すことを改めて考えさせられた海水浴でした。(N)

鎌倉石屋
極花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

創立50周年
鎌倉彫会館
歴史と文化、体験と交流の場
伝統工芸「鎌倉彫」教室の他、教室、ギャラリー、カフェの場所貸しもあります。様々な用途にご利用ください。
鎌倉市小町2-15-13
(鎌倉駅東口徒歩5分)
お問合せ ☎0467-25-1500
メール kyoudoukumiai@kamakuraborikaikan.jp
URL http://kamakuraborikaikan.jp

暑中お見舞い申し上げます
お一人お一人が
希望を持って暮らせるよう
誠実かつ献身的に
多様なサービスを提供します
地域とつながる
社会福祉法人
鎌倉静養館
1921年(大正10年)設立
☎0467・22・3245(代表)

桜と蓮の寺
浄土宗大本山 光明寺
精進料理や行事のことなどお気軽にお問合せください。
精進料理のご予約は電話にてご連絡下さい。
十夜法要(10月12日〜15日)
※13日・14日は露店がでます。
〒248-0013 鎌倉市材木座6-17-19
☎0467-22-0603
http://komyoji-kamakura.or.jp

鎌倉の町並と
日本人の心に馴染む家づくり
KAMAKURA STANDARD
戸井田工務店
☎0467-24-7777
www.kamakura-standard.com

トム・プロジェクト プロデュース
にっぽん男女騒乱記
なんにょそうらんき

音無美紀子

上原理生

高橋長英
作・演出 東憲司
戦争で踏みにじられた青春を取り戻す
…老いも若きも真っ盛り 逞しき男と女
昭和27年。敗戦から7年後…
町の外れに米兵専門連れ込み宿「さんふらわ」が花開く
女主人・千鶴は太陽の花の如き天真爛漫豪快無比
腐れ縁の紙芝居屋(エログロ専門)・源之助は日陰草…
…二人が夫婦だったことは誰も知らない…筈だった!?
9月15日(土)14時開演(13時30分開場)
湘南台文化センター市民シアター
全席指定 3,500円(税込)
■プレイガイド
藤沢市民会館 0466-23-2415
湘南台文化センター市民シアター 0466-45-1550
チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:487-155)
ローソンチケット 0570-000-407(Lコード:32187)
イープラス カンフェティ
■主催・問合せ (公財)藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課 Tel.0466-28-1135
■後援 藤沢市・藤沢市教育委員会 ■協力 (公財)藤沢市まちづくり協会・藤沢市民会館サービス(株)共同事業体

暑中お見舞い申し上げます
鎌倉大仏殿高徳院
住職 佐藤孝雄

拝観時間
4〜9月 午前8時〜午後5時30分
10〜3月 午前8時〜午後5時
鎌倉市長谷4丁目2番28号
電話 0467-22-0703
FAX 0467-22-5051
ホームページ http://www.kotoku-in.jp/

暑中見舞い申し上げます
大塔宮 鎌倉宮
宮司 小岩裕一

平成30年鎌倉宮例祭
8月19日 午後4時 前夜祭
午後6時30分〜納涼踊り・夜祭楽市
8月20日 午前10時 例祭
午後6時30分〜納涼踊り・夜祭楽市
鎌倉市二階堂154番地
電話 0467-22-0318 FAX 0467-22-3755
ホームページ http://www.kamakuraguu.jp/